

ゆもちき通信 213号

わいわいアカデミー ～分身人形で動画作成！～

2月20日現在
 子ども会員：152人
 正会員：35人
 賛助会員：240人
 32団体



なりきりピンチやもはり大集合!



もくじ

- しりたがり.....02
- おとな塾.....03
- わいわいアカデミー.....04~05
- パパインタビュー.....06
- ティーンズ+/東京オトナLIFE.....07
- 鑑賞部～世界のピンチを救え!～.....08

やまもとかずこの 知りたがりやトーク

2月に入り、各地から梅の便りが届き始めました。なのに、都市部はいまだ緊急事態宣言下、ちっともウキウキした気分になりませんよね。思い起こせば昨年の今頃は、萬齋さんに来ていただいたり、スーパー歌舞伎の千秋楽を観に行ったり…と、いろんなものを観て楽しむということができていました。それが全くできなくなって、どんなに幸せな時間だったかということに改めて気づかされました。コロナ騒動からおよそ1年が経過、マスク着用も当たり前になってきた今日この頃ですが、みなさんいかがお過ごしですか？

結局、やるの？やらないの？やらないってことになったら、これまでに使ったお金はどうやって回収するつもり？コロナで生活めっちゃ不安定なのに…もしかして税金あげちゃったりとかするの？多くの方がそんな疑問を抱えているに違いない東京五輪・パラリンピックですが、ここにきて、またまたお騒がせ。それは森氏の「女性がたくさん入っている理事会は時間がかかる」との失言に端を発したもので、彼は国内外のメディアから“女性蔑視である”と散々つるし上げられた挙句、会長職を辞任することに。

その第一報を耳にしたとき、「あ～あ、またやっちゃった」って、思った人は少なくないことでしょう。特に驚くようなことではなく、以前から、彼がそういう偏った価値観の持ち主であることは周知の事実。でもその交渉力や顔の広さにかけて、起用したのでしょうか、周囲が彼を擁護するのは当然だし、メディアがイジメながら、これほど執拗に取り上げる必要があるのでしょうか？それはきっと海外に対して、日本メディアはちゃんと役割を果た

しているというアピールなんだと思います。なぜなら彼らは、お笑い番組などで、そこまで言っても大丈夫？みたいな場面があっても咎めたりしません。もちろん芸人さんは国を背負って、お笑いをやっているわけではありませんし、あくまでもネタなのでしょうが、子どもたちに大きな影響を及ぼしているという点においては、そちらの方がもしかしたら罪が重いかもしれません。視聴率さえとればいいのか？メディアの偏った正義感…最近、ちょっと気になります。



人権って、簡単に言うけど、難しいな！って思うこともしばしばです。ここ数週間で観た映画の中でも考えさせられることがたくさんありました。「ヤクザと家族 The Family」では、ヤクザとその家族の生き難さが、「すばらしき世界」では、服役してきた人の就職の難しさや障がい者の就労の現状が、「ファーストラブ」では、性的被害を受けていた少女の人権、見て見ぬふりをしていた母親の心情がそれぞれ描かれていました。それらの作品を観ながら、自分は傍観者ではなく、常に、人権に配慮した言動をとっているか？そういう人と遭遇したら、心から受け入れることができるのか？自身に問いかけてみました。でもその答えはNO！残念ながら今の自分は、そこまでの人権意識や寛容さを持ち合わせていません。一方で、関わった人たちがみんな幸せになって欲しいと思っていることも本心です。だから、私にできることは、まずは関わりをもつようにする！ってこと。それが、きっと人権意識の高揚につながっていくはず！

Nextおとな塾

JAZZ&POPS LIVE

出演：松原 杏(キョウ)さん(Singer/Vocal 講師/音楽療法士)
三浦 雄希さん(編曲家/キーボーディスト/ドラマー)

【日時】3月17日(水)19:30～
【場所】生涯学習センター音楽ホール
【参加費】1500円

毎年恒例!

呉市のおさいふ



講師: 矢藤誠司さん

(呉市財政部財政課長)

今回のおとな塾は、出来立てホヤホヤの来年度予算について、財政課長の矢藤さんに伺いました。

恒例となっているこの企画ですが、私は初めての参加。今年度の事もよく知らないまま話を聞き始めましたが、はっきり言って勉強不足。冒頭の歳入・歳出の内訳ですら、額を追うので精一杯。焦った～。

そんな私でも興味を持った分野が2つ。1つは、今年2児の母になる私が今一番気になる、子育て支援について。

去年の8月から運用開始した、子育てに関する手続きを案内する「子育て手続きナビ」。来年度はWebで手続きそのものが可能になるそう。さらにWebサイト「くれ子育てねっと」がスマホ対応になり、子育て情報総合サイトとしてリニューアルするんだって。そういうのに疎い私、2つとも存在を知らなかった。でも幼子を連れて市役所に行くって割と大仕事なので、Web申請できるとうれしい。

もう1つは呉駅周辺の開発。そごうが閉店し、あの跡地はどうなるんだろうと、呉市民なら気になっていたはず。駅周辺を国が、そごう跡地を呉市が再整備。今年度はその開発事業者の選定を行うそう。配布資料のイメージ図では、呉駅のロータリー部分が2階建てに！1階はバスやタクシーが、2階部分は歩行者専用で大きな広場となり人が集う！まだまだ先の話ですが、ようやく動き出す！おしゃれな

場所！とワクワク。最近暗いニュースばかりだったけど、この先の面白そうな呉市が見えて、終わり頃にはもっと聞きたい！と思っていました。

この話を聞くまで、自分達の税金がどのように使われるのか、全然気にしてきませんでした。税金の役割を調べてみると、国税庁のHPに、“私達が納めた税金は、国民の「健康で豊かな生活」を実現するための財源となる”と。今年度はコロナ禍で、収入が減ったり失業したり、豊かな生活どころではありません。一方で株価は上がり、投資家等お金持ちの所にお金が集まる。届くべき人に届いていない！システムおかしい！どうすればいい？！

私がまずできるのは、必要な所にお金が回せる人を選挙で選ぶ事かな。今年のはあの河井案里氏の当選無効に伴う参院再選挙、衆院選、市長選などあります。以前はどういう基準で選んでいいかわからず、顔で投票した事もあるけど(汗)、これからは呉市や子ども達の未来の為に、誰もが「健康で豊かな生活」が保障される社会になるような政策を、ちゃんと実行できる人に投票せねば！ (岡下瞳美)

大学生の感想

一番に考えた事は、呉市でもこれほどの大金が動いていたのか！ということでした。少し失礼な話、私は呉市を田舎町として捉えていたのかもしれませんが。そのため、たった1年の間に多様な事業が行われていること、様々な財源や出費の動きがあることを知ってとても驚きました。

呉駅周辺開発など観光について

高校性の頃、社会探求プロジェクトを通じて呉市の観光には日帰り観光という重大な課題があり、その対策を考えたことがあります。市でも様々な試行錯誤が為されているようでした。やはりそれは深刻な課題であることを再認識。呉駅周辺開発に関しては、高校時代になかなか進展しないことを、何も着手がされていないのだと誤解していたと申し訳なく感じました。呉市の駅や道路であってもJRや

国の機関など様々な組織の権利が複雑に関係していることについて知り、開発にはまだまだ時間がかかりそうだということが分かりました。

中学の頃から夜のニュースを見ることをルーティンにし、最近では午前やお昼のニュース番組も見て社会の動きを掴んでいるつもりでしたが、まだまだ未熟だなと反省。その1番の要因はニュースを自分事として捉えていなかったからなのでは、と気づくことができました。ただの学生の私にとっては自分の力の及ばない所の話で、身近に感じられなくても仕方がないことなのかもしれません。しかし、既に選挙権も得ている身。しっかりと自覚ある判断をするためにも、やはりニュースの話題を自分事として思考しなくてはならないと思います。今回気づかされた隠れ政治的無関心を反省しつつ、ニュースや政治に向き合う態度を改めていきたいと考えさせられるおとな塾でした。(芥川愛花里)

わいわいアカデミー第5回 クリエイターになろう!



今回のわいわいアカデミーは3回連続講座。「芸術は自己表現」ということで、まずは自分を見つめ直し、自分の分身人形をつくりました。その後チームにわかれ、全員の人形が登場する脚本を書き、演じ、それを動画に撮る…0(ゼロ)から創りあげるといふもの。すべてがNEW ワールドでした!

第1回

1/30 「自分ってどんな人？」 外見は？内面は？強みと弱みは？…と自分を見つめ直して言語化し、それを人形に表した。

第2回

2/6 「なりたい自分」どんな人になりたいんだろう。なりたい自分人形を作った。チームに分かれて人形劇のあらすじを考えた。

第3回

2/13 「動画を撮るぞ！」いよいよ台本作り&動画撮影&鑑賞
(生涯学習センター507号室)



いったい何をやるん？から始まったけど、結果ちょっとしたクリエイター気分になってNEW ワールドをつくっちゃったわ。

“今の自分”と“なりたい自分”を表す人形作りは心が開放された気分。みんなの作品発表を見るのも聞くのもそれぞれに思いが込められていて興味深かった。その後2チームに分かれ、自分たちはホームドラマ的な話にすることに決めた。フリ・ウケ・シメの流れを考え、台本を作り出していくのが産みの苦しみ…設定場所をどこにするか？だけでも「東京!」「いなか!」と両極端に分かれるし、「自分だったら何て言う?」「次は誰がしゃべる?」と聞いても返事は「わからん」「…(無言)」。それを丁寧に確

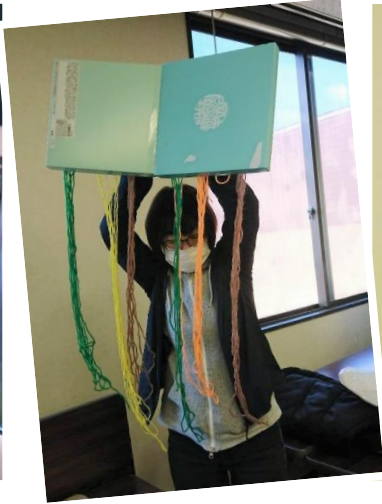
認しながら、一人ひとりセリフを決めたが、そのせいか本番ではみんな下を向いて読んでしまった。が、とりあえず無事撮影終了!

でも自分だけでは絶対やらない。仮に話を思いついたとしても人形作って台本作ってさらに動画にするなんて。「やる」という意識もないな。

今回1番印象に残ったのは1回目。それぞれが今の自分の強みと弱みを書き出し、言える範囲で発表したんだけど、それについて否定されるわけでもアドバイスされるわけでもなく「そうなんじゃねー」とうなずいて受け入れてもらっていることに、居心地の良さを肌で感じた。これは人が実際集まって話してみないと感じられない。コロナは怖いけど、でも人とのからみはなくなっちゃダメだ〜と強く思った。

「クリエイターになろう!〜つくろう!NEW ワールド〜」よかったよ〜!
(上田実穂)





たった3回の講座で動画を作る！？正直想像がつかなかった。自分について紙に書き出し、みんなに伝えたり、自分の分身人形を作ったりした。自分を表現するってスッカリするんだな。みんなが躊躇なく分身を作っていくことや、その人形にぴったりの名前をつけることにも驚いた。

グループに分かれ、私たちは推理物の動画をつくることに。【宝石が盗まれる】【ほんわか探偵】【コナンの曲流そう】などアイデアはポンポン出てくるが、まとまらず。

最終日。ストーリーを共有しながら書いていくけど時間がない！セリフどうするんだ！と思ったが「マダムレッドもグル？落ちは？」と最後までストーリー作りを止めないメンバー。もうヤバイ！結末を決めたところで撮影時間。すると1人が「おばあさまの声でいくか？ナレーション風にしゃべろうか？」と呟いたかと思うと、おばあさまになりきって一気に滑り出した！続いて「きゃ～戦火の涙ルービーが盗まれた！」とマダムレッド。「お任せください、犯人をみつけます！」と森から来たほんわか探偵…。セリフはアドリブ。驚いたことに3分の動画が撮れていた。時間ギリギリまでねばって膨らませたストーリーのイメージだけで、セリフも決めてない、練習もしてない、相手がどう言い、動くのかも分からない状態だったのに、いざスタートすると、それぞれが声色さえ変えている。音響も場面に合わ

せてBGMを流したのだ。私はといえば、一番短いセリフをメモし、棒読み。若者は、まあすごかった！

今回の企画、考えつかないことが起こってハラハラ、びっくり。思い出すと滑稽で笑える。最初に分身人形を作るとき「やる気が続かない」「優柔不断」などのネガティブな言葉が多いのが気になった。でも一人では想像もできなかったことも、人と一緒にやることで色々なアイデアが出て、動画まで作り出すようなすごいことができたじゃん。それぞれの強みを出していけばいい、だからネガティブにならなくてもいいと思う。短所も強みに変えていけるんじゃないかな。
(屋敷こずえ)



イクメンなんて呼ばないで笑

~Vol.17~

パイインタビュー

イクメンなんてもう古い!?そんな言葉なくたって、子育てを楽しんでるパパ、いっぱいいます。YYY のまわりのパパにスポットをあてるインタビュー。今回は、弓場一雅(ゆうばかずまさ)さん。お子さんと一緒に現れたかと思うと、何やらピイピイ鳥の鳴くような声が。「鳥がおるんかね?」いえいえ、ポケットから出てきたのは鳴き声のような音のする手作りおもちゃ。なんでも作っちゃうパパ登場!



—お子さんは?—
1年生男の子です。

—お仕事はなんですか?—

今は派遣で船の関係の仕事をしていきます。造船関係。設計と現場との間で仕事をしています。

—お休みは?お子さんとはどんなことをしますか?—

基本土日が休みです。子どもと一緒に遊んでいます。妻が家で鍼灸院をしていますので、隔週で休みを取って、家族でどこかに行ったりとか。自然の多いところへ。よく山とか海へ行ったり遊びますね。
あと公園行ってみたり。雨が降ってたら家でなにか作ってみたりとか。

—家事も結構しますか?—

妻は目が悪いんですが、家事はできてないんです。僕が物を動かしたら妻はわからなくなる。覚えてる場所に置いてかんと「ない」ってなるんですよ。調味料とかも順番を決めてるらしくて、動かすなあって。僕は母が早くに亡くなったから家のこともやってきたけど、やっぱり妻の料理は美味しい。ちよつと離れると感覚が鈍る気がしますね。掃除は妻のお母さんと同居しているんで。お義母さんがやってくれるんですよ。だから家事はぜんぜん手出せないんです(笑)やるにしても、休みの時に、子どもと一緒に、たとえば焼きそばをホットプレートで作ったりとか、ぐらいですかね。
平日は妻と子どもはご飯が早いんですよ。5時ぐらいに食べちゃうから、僕、間に合わないんです(笑)寝るのも早いです。今は少し伸びて7時ぐらいになりましたけど。

—じゃあ帰宅したら真っ暗ですか?—

子どもが幼稚園の時はそうでした(笑)今は仕事が8時

から5時で、帰ったら6時ぐらいだから、顔を合わせられてます。僕が子ども寝かせて。昔から寝る前に、絵本を読みます。本って楽しいものって感じてほしくて。そのおかげか、すごい好きになってくれて。自分でどんどん読み始めて。2週間に1回は図書館に行って10冊くらい借りてきて読んでます。

ただやらないといけないことを後回しにするんで怒られるんですよ。お風呂あがって服着る前にもう読んで。まずは服着なさいって(笑)で、子どもが寝たら僕は起きます。

—寝落ちしないんですか(笑)起きてから何を?—

テレビ見るときもあるし、本読むときもあるし、勉強することも。今ずつと漢方の勉強をして。教えてもらってるんで、ノートまとめとか。

—テレビはなにを見るんですか?好きな俳優とかは?—

熱狂的なのはあまり(笑)大河ドラマは毎年見ます。でも学生の時もそんなにテレビ見てないですね。田舎育ち

で、山の中とか海行ったりとかだったんで、家におることがなかったですね。その辺の木とかで工作したりとか。今はキットとかあっても、何もないところからさあどうやって遊ぶ?みたいなのかなかなかないじゃないですか。だから、自分で考えながら遊んだり作ったりできるようなになればと思ってる子どもと一緒にやってみたりとかします。ある物とある物を合わせてみたらもつと楽しいのができるかもしれん、と。

—今日持ってるおもちゃも一緒に作ったんですね!—

こないだ参加したネイチャーゲームの人が持ってる「あれが欲しい」って。欲しいって売ってないけん、じゃ作るうかみたいな。ねじ買ってきて、木を拾いに行こうかって。どんな木がええかねって公園で見たりしました。

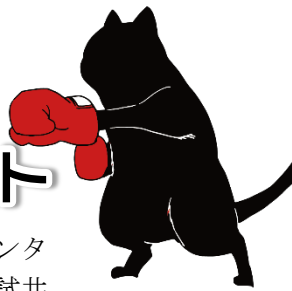
逆にやりすぎて、父ちゃんなんでも作れると思つとるらしくて。今度、電動のモーター付きのラジコンみたいなものを作つて。いやあそりや作れんよって(笑)

(インタビューあかずこ

ティーンズ^{plus} 意外にも!?



大学入試共通テスト



中学生のころから「君たちの代から大学のセンター入試が変わるよ」と言われ続けてきた大学入試共通テストが終わりました！記述式の問題が有るとかないとか、外部の民間英語試験を受ける必要が有るとかないとか、コロナのあるなしに関わらず混乱していたこのテスト。受けてみたら思っていたほど怪物感はなく、ちょっと拍子抜けした感じです。

毎年この時期にニュースでセンター試験のことが報じられて「いつか自分も受けるのかあ」と思っていたのですが、実際に受ける番になっても実感がわきませんでした。進路が決まっているとはいえ、こんなに緊張感がなくて大丈夫かな、本番で一気に緊張が来たらどうしようと思っていました。当日、受験科目が午後からだったこともあり、会場にもあまり緊張感が漂っておらず普通に受験することが出来ました。

国語はセンター試験の過去問にはなかった、問題文の中に絵やグラフ、図や法律の引用文が入っていました。文をただ読むだけではなく、それらの資料

群から必要な情報を選別し取舍選択する力や、メインの問題文と資料の情報を結び付け、整理する力が以前より求められるようになったのかなと思いました。

英語はちょっとびっくりしたことがありました。練習で解いたことのないタイプの問題が出てきたのです。「始め」の合図の後、ザっと見ると、共通テスト対策の問題集には大体出題されていた、伝記を読んで答えるタイプの問題がなく、代わりにパワーポイントを作成するような問題が出ていたのです。テスト受けたくないな…と思っていても、あの問題が出るかもしれないからやってみよう！というほど、私にとってご褒美のような存在だった伝記問題がなくなっていてテンションがだだ下がりでした。

思っていたより点を取れた、取れなかった、いろいろな人がいるとは思いますが、各々の進む先で幸あれ！と願います。(なつ)

きょうこの 東京オトナLIFE

vol. 19



～災害に備える心構え～

2/13、福島・宮城を中心に「福島県沖地震」という大きな地震がありました。なんとこの地震は、10年前の東日本大震災の余震だと言われています。

10年前の2011年、私はまだ高校生で呉にいたので、ニュースを見ても「遠いどこかで起きた話」という気持ちでした。しかし、今回は、東京のひとりぼっちの家で震度4。大きな音が鳴って、棚の上の写真立てが落ちてきました。瀬戸内は地震が少ない地域だったので、慣れないことに戸惑いつつ、次に大きな揺れが来たためのために急いで水を溜めて、ガスの元栓を締め、モバイルバッテリーを充電し、避難用リュックと着替えを用意しました。

幸い、そのあとは小さな揺れだったので避難せずに済みましたが、自分の地域の避難場所はどこか、何を持っていけばいいか、シミュレーションしておくことが大切だと痛感しました。

この記事を読んでいる皆さんの中には、「震災のあと生まれ」の人もいるでしょう。どこかで大きな

災害が起こったときに、「自分だったらどうするか？」と考えるクセをつけてほしいと思います。

大人になると、避難訓練の機会も減るし、新しいことを知る機会が少なくなってしまいます。ぜひ、学校で習った「避難訓練の内容」や「必要な心構え」を、周りの大人に教えてあげてくださいね。

東日本大震災に関連して、わたしのバイブル『あれから』(今人舎/2012年刊)という俵万智さんの歌集を紹介します。故郷の仙台に住んでいた俵さんが、震災をきっかけに息子と2人で沖縄へ移住した時のことを詠んだ短歌が収められています。

「逃げた」と言われながら、子を守る母の歌に、涙が出てきます。ぜひ、この節目の年に読んでみてください！



世界のピンチを救え!

ピンチバスターズ!

コロナ渦で色々な行事がなくなり、我慢を強いられた子どもたち。もちろん大人も…。そんなみなさんに、元気をお届けしたくて企画した「春の人形劇フェス」。ただ、当日を迎えるだけじゃ、もったいなあ〜い！！ってことで、ジャジャ〜♪なりきりグッズを作製！人形劇の登場人物になりきって、写真を撮って楽しんでおおう！事務所の特設スタジオにピンチバスターズがゾクゾク。「行け！ピンバスターズ！」今日も世界のどこかでだれかのピンチを救っているのだ。

春の人形劇フェス

- 🌸 「ほくピンチなんです！」
3月12日(金)17:00～
阿賀まちづくりセンターホール
- 🌸 「三びきのやぎのがらがらどん」
3月13日(土)13:00～
ビューポートくれ大会議室
4月24日(土)13:00～
ビューポートくれ 5F 瀬戸の間
- 🌸 「やもじろうとはりきち」
4月24日(土)14:00～
ビューポートくれ大会議室



春の人形劇フェス3つのお得!

- ①3本立てなのに6つの物語と出会えるチャンス!
- ②コロナに負けないくらい大笑いして免疫力アップ!
- ③当日はもちろん、観た後も思い出して笑っちゃう
何年たってもおや子、友達と盛り上がること間違いなし!

感染予防対策は、十分に行います。
お誘いあわせの上、是非ともご来場
ください。お待ちしております。

■発行日:2021年2月25日(毎月1回発行) ■発行責任者:米本美千恵
■発行元:特定非営利活動法人 呉こどもNPOセンターYYY 〒737-0051 呉市中央3丁目11-12PANビル3F
■連絡:0823-24-5646 ■WEB:<http://kure-yyy.org>